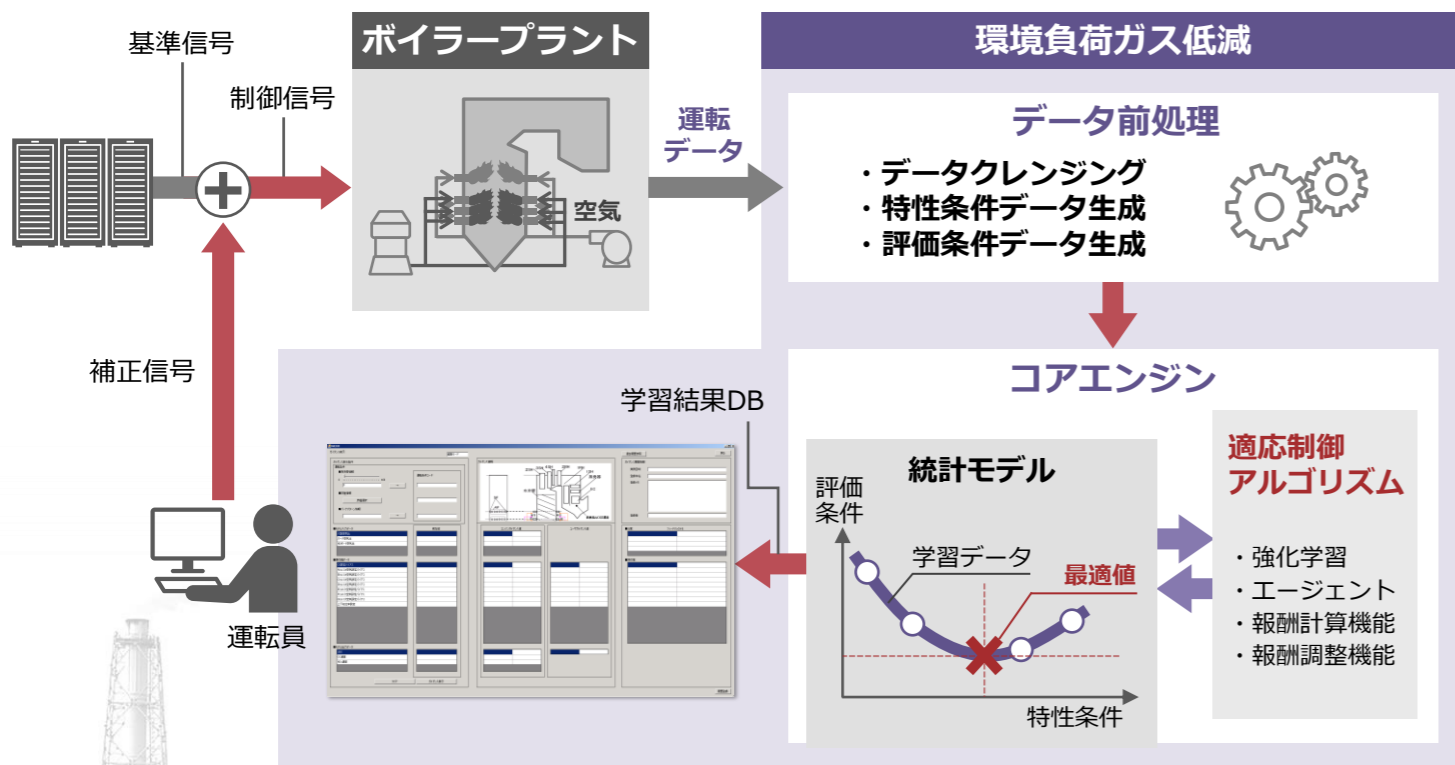


環境負荷ガス低減ソリューション

「効率的なプラント燃焼調整が困難」

「運転員のノウハウ・経験依存による運用コストが増大している」

プラント運転データの利活用で、熟練技能者の経験に依存しない高度な運転・運用を実現します。



● プラント運転員のノウハウ・経験（パラメーターの調整など）を体系化し、属人化および燃焼調整に関する課題を解決します。

● NOx排出量の低減に加え、未燃分など関連パラメータを適切に設定することで燃焼効率向上、環境規制対策とコストをバランスさせます。



安全に関するご注意

ご使用の前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- 記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

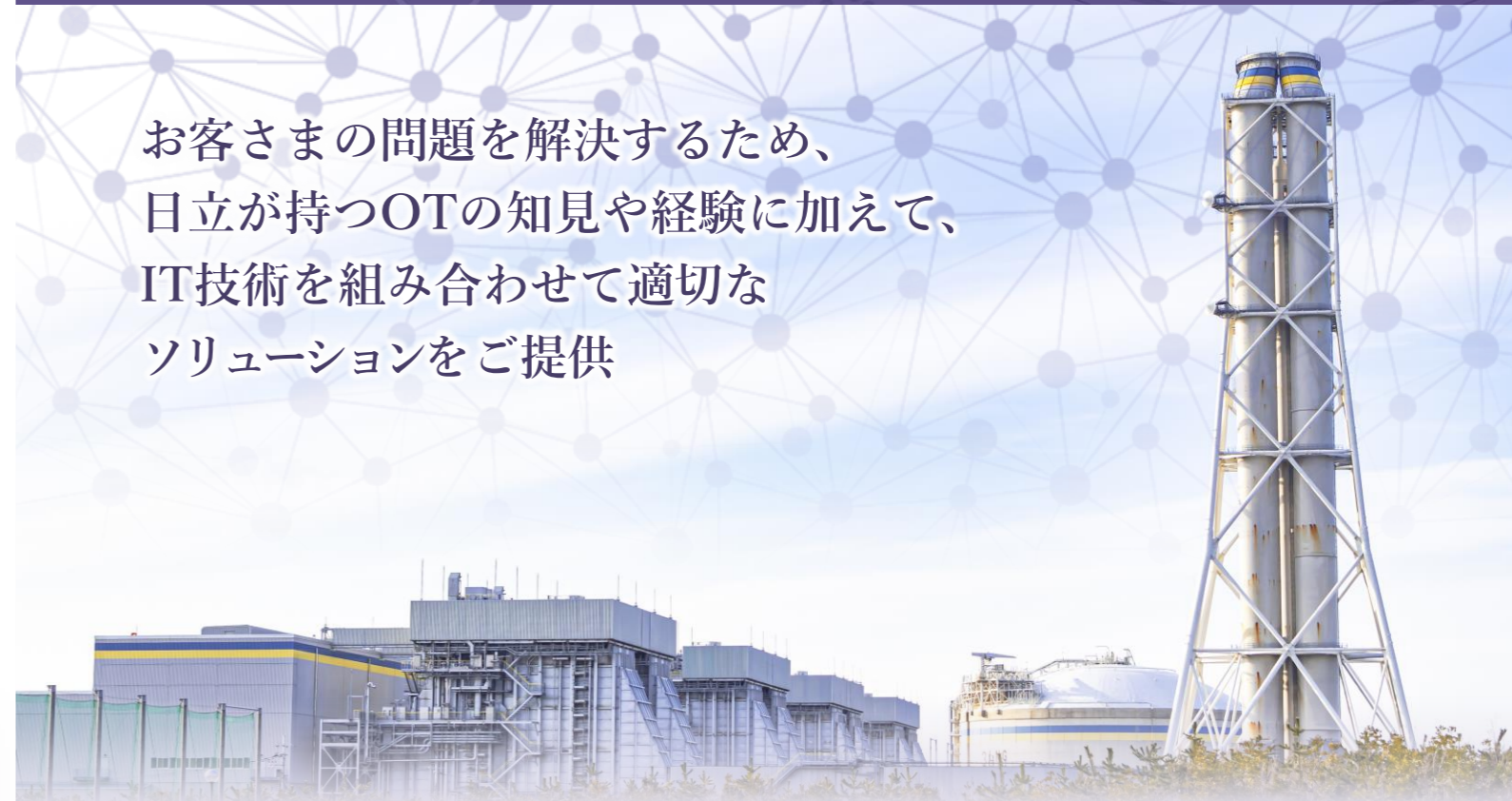
製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ インターネットでのお問い合わせ
https://www.hitachi.co.jp/control_sys/psdx/



火力・水力発電所向け DX業務高度化ソリューション

お客様の問題を解決するため、日立が持つOTの知見や経験に加えて、IT技術を組み合わせる適切なソリューションをご提供



協創BPRのフェーズ全体において日立のソリューションをご活用いただけます。

企画

実行

運用・評価

協創型BPR (Business Process Re-engineering)

LXP (Learning Experience Platform)

予兆診断ソリューション

環境負荷ガス低減ソリューション

協創型BPR

現状の業務プロセスを可視化し、「めざすべき姿」へと業務を再構築します。

LXP

業務ノウハウを「のこして、つないで、つかう」プラットフォームを提供します。

予兆診断ソリューション

ビッグデータ解析を活用した予兆診断によって、異常を事前に検知し、最適な対処を可能にします。

環境負荷ガス低減ソリューション

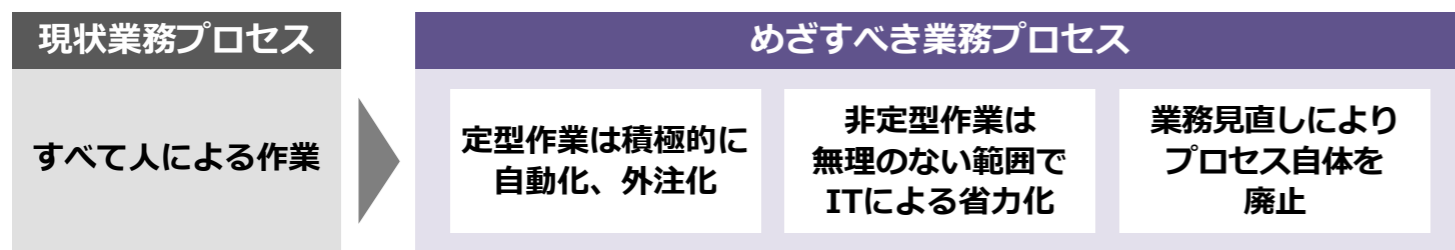
プラント運転データの利活用で、熟練技能者の経験に依存しない高度な運転・運用を実現します。

協創型BPR

「業務効率化を考える余裕がない」
 「改善推進部門と現場部門の意見が合わず改善が進まない」
 現状の業務プロセスを可視化し、めざすべき姿へ業務を再構築していきます。

- 1 エネルギー業界の特性や実態を理解した有識者が対応します。**
 日立は創業当初から100年以上にわたって、エネルギー分野の事業に取り組み、その過程で培ってきた発電所の業務に関する技術や知見があります。
- 2 多様な業界、業種における業務分析結果に基づき、異なる視点を提供します。**
 業務分析の結果を他業界、他業種事例と比較することで、新たな気づきを得ることができます。
- 3 さまざまな分野で培った豊富なソリューション群を適材適所で提案します。**
 産業、上下水道、ITなどのさまざまな分野で蓄積したベストプラクティスを応用展開します。

● **再構築した業務を俯瞰し、適切なソリューションを選定**



エスノグラフィーという調査手法を用いてお客様の業務を可視化します

» **エスノグラフィー調査とは**

フィールドワークによって人びとの実際の行動を観察し、事実に基づく分析を行う調査手法。現場で実際に起きている行動を文脈とともに理解できるため、単なる業務フローの可視化ではなく、業務実行者の判断基準や価値観といったソフトな側面も含めた業務の可視化が可能です。

● **業務可視化からソリューション選定、効果の評価までトータルで支援**



LXP

「設備の老朽化によるメンテナンス需要の増加」
 「熟練技能者のリタイア、ノウハウの継承不足」
 現場設備のメンテナンス業務のノウハウを蓄積・継承します。

ノウハウを のこす

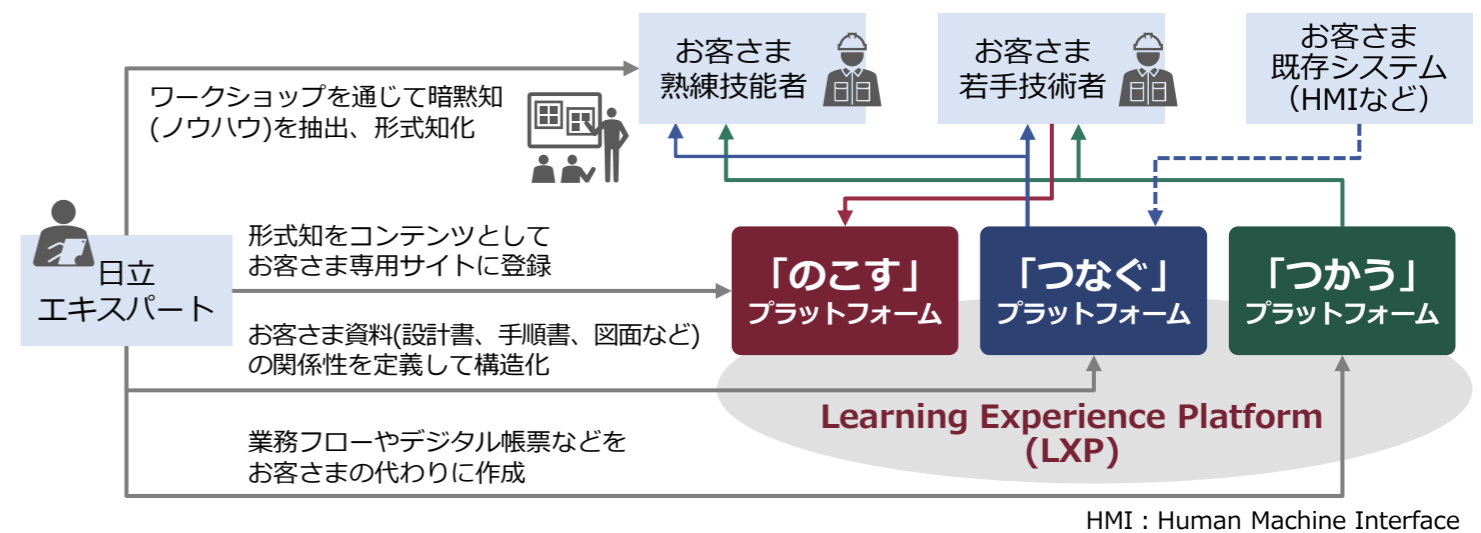
熟練技能者の持つ暗黙知を抽出し、形式知化されたノウハウを学習するためのコンテンツを作成します。

ノウハウを つなぐ

熟練技能者が閲覧する資料や機器との関係性を、設備図面などにマッピングし閲覧できる環境づくりをします。

ノウハウを つかう

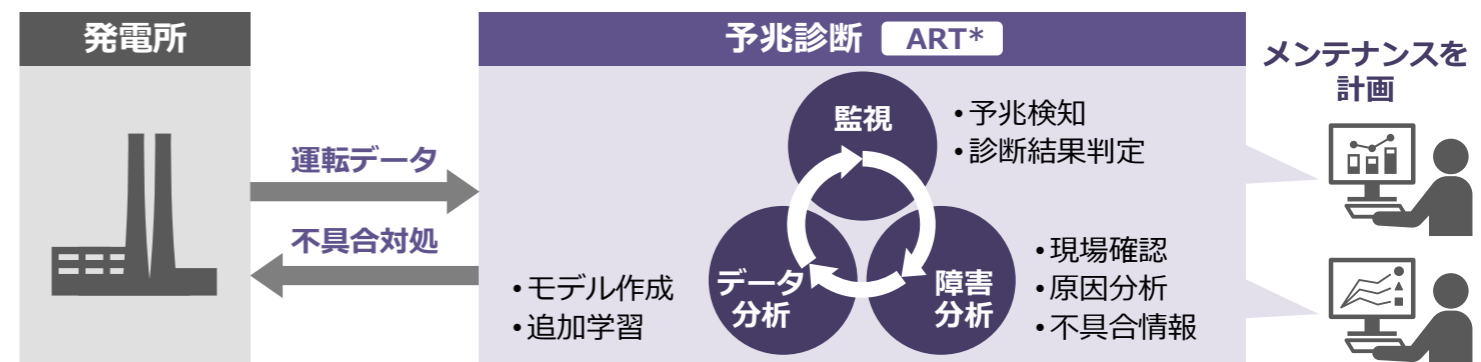
熟練技能者の業務の流れを可視化し、メモやTipsを体系的に管理・共有します。



予兆診断ソリューション

「突発的な機器故障への対応が難しい」
 「機器故障時の損失が大きい」

予兆検知の技術で、不具合傾向を早期に発見し、計画外停止の防止、修繕費の低減を実現します。



予兆検知には、ART(クラスタリング方式)を採用しています。関連する複数の正常データを学習し、カテゴリー化する分類手法です。複雑なプラント特性のモデル化が可能です。また、追加学習が容易なため、予兆検知結果を基に障害分析した結果を、モデルに都度フィードバックしながら運用できます。

* ART : Hitachi AI Technology/Adaptive Resonance Theory